

旧海軍格納庫 1棟を移設保存

NTT研修センタ跡地にある旧海軍の格納庫群の保存を求めてきた私たち「市民の会」は、2月3日、3棟のうち1棟(第4格納庫)を移設保存する方向でNTT西日本と合意書を交わしました。大阪の同社本社で、加藤二三子、竹内宏行の共同代表と植草常雄不動産企画室長が署名しました。

合意書は NTT西日本は再構築可能な形で解体し、12月まで部材保存する 移設場所、活用法、資金など検討する関係者の協議体を設置し、そこにNTT西日本、市民の会とも参加する、という内容です。NTT側は3棟の全面撤去の方針を打ち出し、「市民の会」は3棟の現地保存を訴えてきたところですが、こうした形で折り合ったものです。撤去方針の撤回を求める署名は最終的に1万2018人となりました。1月22日、文化会館で開いた市民シンポジウムには300人を越える参加者がありました。私たちの思いを受け止めてくれたNTTの提案を、私たちは運動の成果として受け入れた次第です。

NTTと鈴鹿市による格納庫群の解体撤去の方針が判明したのが、昨年3月26日の鈴鹿市議会全員協議会。その日から保存を求める運動を懸命に展開してきました。撤去方針を認める形の関連議案が6月市議会で通り、ふつうならこれで終わりというところでしたが、あきらめず各方面に訴えてきました。3棟保存を貫けなかったものの、多くの市民から「よくここまでやったね」と声をかけられました。

市長選、市議選立候補予定者に公開質問状とアンケート

移設の場所、活用法、費用などはこれから協議体を設けて検討していくこととなります。多くの市民の知恵と力を集めて、よりよき移設保存を実現していきたいと思いますが、やはり決め手は鈴鹿市当局の参加です。NTT西日本も同様の認識をしています。そのため、4月24日投票の鈴鹿市長選、鈴鹿市議選の立候補予定者に公開質問状とアンケートを出しました。公開質問状は市長選立候補予定者に対して。旧格納庫の歴史的価値についてどう思うか、第4格納庫の再構築についてどう思うか、市の協議体への参加をどう考えるか、移設候補地をNTT研修センタ跡地北側の防災公園予定地にすることについてどう思うか、再構築後の活用法についてどう考えるか、の5項目から成っています。また、市議選立候補予定者に対しては、移設保存実現のため協力してもらえるかどうかの1点に絞って聞いています。

市長選の回答結果は記者発表するとともに、会報臨時号に載せる予定です。市議選のアンケートは集計数字だけ公表して、あとは議会への働きかけに活かしていく考えです。

成功できた 格納庫保存を考える市民シンポジウム ～けやきホールに300人～

2011年1月22日(土)に鈴鹿市文化会館けやきホールで「格納庫保存を考える市民シンポジウム」を開催しました。このシンポジウムは、私たち市民の会を中心としてさらに幅広い市民で実行委員会を作って行ったものです。当日は新聞報道もあり、遠くは愛知や京都など県内外から300人を越える参加者を迎えて、会場は盛況でした。会員の皆様もたくさんご参加下さり、ありがとうございました。

主催者あいさつの後、浅尾悟さんによる「鈴鹿市の戦争遺跡」の解説。軍都として誕生した鈴鹿市に造られた軍事施設の概要、そして今も残る多くの戦争遺跡について知ることができました。つづいて基調講演は十菱

駿武さん(山梨学院大学)、戦争遺跡保存全国ネットワークの代表でもある十菱さんは、全国の戦争遺跡の保存状況を紹介され、あわせて鈴鹿の格納庫が全国的に見ても大変貴重な戦争遺跡であることを具体的に語って下さいました。その後のパネルディスカッションでは、パネラーとして十菱さん、清水信さん(文芸評論家)、明石孝利さん(鈴鹿商工会議所常務理事)、加藤二三子さん(市民の会共同代表)をお迎えして、それぞれ興味深いお話をして下さい、総意で「市民の意見を聞き、格納庫が大切な文化財として意識されていない開発計画を再検討すること」「万一破壊する時でも学術的に耐えられる記録調査をすること」「そのためにも1月下旬の解体は保留すること」という意見をまとめました。

時間の関係で客席からの質問や意見を聞けなかったのは残念でしたが、お願いしたアンケートにはたくさんの熱い思いを書いて頂くことができました。ほんの一部ではありますが、ご紹介します。

戦争体験が風化しつつある現在で、戦争遺跡保存とその活用の大切さについて改めて認識しました。この格納庫についても身近な所でありながら詳しく知らなかったことを鈴鹿市民として恥ずかしく思いました。全国にこんなにもたくさんの戦争遺跡があることを知らなかった。驚きであり、無知を恥じる。ただどの市町でも保存・他への利用にかかる費用が問題であろう。皆で知恵を出し合って全国に発信できる保存等のモデル例にして下さい。(愛知県、70代女性)

格納庫の意義について説明を聞きよく分かりました。知れば知るほど保存の必要性を痛感します。長年住みながら何も知らなかったと気づきました。(鈴鹿市、50代女性)

京都や奈良のような古代からの文化遺産を持って生まれた歴史的な市ではない、軍都として生まれた歴史を持つ格納庫を遺産として残すべきと思います。(鈴鹿市、60代男性)

鈴鹿市市制70年に、市が合併する原因となったアジア太平洋戦争の生き証人だと大々的に保存する必要があります。鈴鹿市市制記念資料館です。

鈴鹿市がもう少ししっかりしてほしいです。なさげ無いかぎりです。市民の我々のレベルが低いでしょう、私もその一人ですけど。それと全体的にPRが足りないと思います。私がこの事を知ったのは最近です。私の妻は旭ヶ丘小学校で、子どもの時から格納庫は見ていたとの事ですが、まったくその成り立ちも何も知りませんでした。そういった所が一番問題でしょう。(鈴鹿市、50代男性)

戦争の遺物を文化財と呼ぶことには少し抵抗を持つ者です。それらが宝だとは思えないからです。ただそれらを日本人が抱えた過去の悲惨な闇だと感じ続けることは必要だと思います。撤去とはそれを容易に捨てるたやすい選択なのかな...とも。ただ、何でも保存保存というのは難しい。別の問題が生じるので是非とも活用という形で道を求めていかなければと感じます。大きな資源なのでコストの面で、また鈴鹿のメリットという点で、よい活用方法がないものでしょうか。戦争から離れてもよいと思うんですよ。要はこの建物がかつてこうだったといのが残ればよいと思います。(鈴鹿市、50代女性)

浅尾先生の解説では、昭和19年末～終戦まで鈴鹿海軍航空隊に在籍した者にとって、当時のことを思い出され懐かしく聞かせてもらいました。市当局が乗り気でないとのこと、なぜなのか不思議に思いました。その重要性を議会にも働きかけ、また新聞にももっと取り上げてもらい(今まで十分にやてこられたとは思いますが)、市民の協力が得られるようにしてはどうかと思いました。(津市、80代男性)

開催時期として1年以上遅れた感がありますが、内容のある建設的なシンポジウムでした。清水信さんの戦争の文学資料館など、鈴鹿市にしかない施設なら全国からの来訪者、研究者が集うものとなります(戦争資料アーカイブス)。明石さんの報告も正直でよかった。再利用の計画について、市民の声を聞くことなく市が進めたことが原因であり、今からでも中止変更の方向に進めるべきです。特に歴史のエポックを象徴する



十菱駿武さんの講演



清水信さんなどによるパネルディスカッション

ものは必ず残し活用すべきです。今日のシンポで市民の多くの合意が成り立つ基礎ができたと思う。改めて運動を広げ、再検討の方向で大運動を進めましょう。(鈴鹿市、70代男性)

清水信さんのお考え、戦争に関する本を飾りたいと言われた事、十菱さんの戦争賛美のための保存館とならないようにのお言葉、大切だと思います。惜しむらくはもう少し早くにと残念です。(四日市市、70代女性)

シンポに参加して格納庫の保存にあらためて強い意識を持った。土地利用転換計画の過去の計画プランの経緯を明石孝利様の説明ではっきりわかりました。今まで行政機関の情報公開がされてこなかった行政の責任と思う。(鈴鹿市、70代男性)

商工会議所の明石さんの発言は真相が良くわかり、こういう話が早くからわかれば方向が違って来たのではと思いました。(鈴鹿市、60代男性)

明石氏の登壇によって、この会が本当に意味深いものになったと思います。立場を越えて出席された明石氏に敬意を表します。行政は「金が無い」と言うと思いますが、金は有ります。予算配分を変えれば良いだけです。しかも予算配分を考える権利は100%市民にあります。市民の金です。(鈴鹿市、40代男性)

財政面で鈴鹿市たいへんな状態であることは理解しているが、今すぐどうにか活用するというのではなく、まずは残すということが必要であるという十菱氏の意見には大賛成です。(鈴鹿市、60代女性)

NTTから無償提供の話があったことを知りませんでした。鈴鹿市がNTTから土地を買おうと思うと、すごい金額の予算があるので保存は無理なのだと思っていました。いろいろな面で鈴鹿市の行政に不満がありますが、加藤さんのおっしゃった闘うのではなく同じテーブルで話し合いたいという考えに賛成です。(鈴鹿市、50代女性)

数字ばかりが先に走っている日本の風景となっている。お金では評価できないものが社会にたくさんある。それを大切にしない国家は光がない。過去の歴史から今がある。私たちは感謝の印として残すべきであろう。加藤二三子さんの落ち着いたお話しぶりはすばらしかった。「対決でなく一つのテーブルで共通の資産を話し合いたい」とおっしゃったことが心に残った。(川越町、70代女性)

文学庫、美術展示棟、それとモーターオートミュージアムへの利用は格納庫のような構造は最も適したものだと思う。なるべく格納庫の原型をとどめた姿で利用し、歴史の風化を防ぐ平和教育のねらいも十分に配慮したものにしてほしい。(鈴鹿市、60代女性)

後世に有意義な形で利用出来るよう提案されていた中で、スポーツ施設は是非利用して欲しいです。(鈴鹿市、20代女性)

平和ミュージアムとしての活用、今まで考えてみたことなかったんですがとても良いですね。鈴鹿市にとっても戦争遺跡の保存の意義を考えても、大事なことだと思います。(鈴鹿市、40代女性)

格納庫を残すことでサーキット以外でも人を呼べる施設が出来るし、必要な考え方だと思います。市民、行政、民間が一緒になって考える第一歩になるよう私も努力したい。戦争・平和を考える方がたくさんみえることがよくわかりました。現在・未来につながるこの運動を応援したいと思います。(亀山市、40代男性)

保存を目的とするだけでなく、具体的な活用法、維持・運営に関する資金調達策、保存後の実際にかかる費用の捻出及び収益の確保というところの実行性が無いと現実的には難しいのではないのでしょうか。行政やNTTを含め、単に保存目的ではボランティア的に協力はしないと思います。せっかくこのような素晴らしい文化遺産があるので、希望・願望だけでなく実行性を伴うプランを策定していただきたいと思います。(鈴鹿市、30代男性)

このシンポジウムも高齢の方が多く非常に残念。これからの世代(若い子達)に戦争や平和について考え、感じとってもらう事は簡単ではないし、大事な事だと思う。開会時、加藤さんがこの取組みをもう少し早く起こせば...と悔みの言葉を発していた事が印象的です。確かにと納得もしましたが、皆様方が立ち上がらなければ誰も動かなかったと思います。この活動が現実として実を結ぶ事が出来ますよう祈っています。(鈴鹿市、20代女性)

格納庫は平和、いのち、文化の種だと思いました。種をまき、育てるのはこれからの鈴鹿市民の力。戦後100年にこの建物が残っていることを願ってやみません。(津市、50代女性)

以上のご意見からもわかるように、このシンポジウムによって多くの市民に格納庫のもつ価値や保存する意味、そして活用の可能性を伝えることができました。その意味でもシンポジウムは成功したと思います。さらに多くの市民が格納庫について知ってもらえるように、これからもこのような場を作って発信し続けたいと思います。

格納庫見学会が開かれる

～最後の見納めに150人が見学、多くの方々から惜しむ声～

2011年2月20日(日)、NTT西日本のご好意で旧鈴鹿海軍航空隊の格納庫の最後の見学会が開かれました。新聞報道等で取り壊しの事実を知った一般市民の方、約150人が3班に分かれて第3、第4格納庫の内部を含め、見学を行いました。市内、県内はもちろん、遠く富山県や京都府、愛知県などから見学に来られた方もみえました。見学者の中にはこの航空隊で訓練を受けられた方、旧電電公社時代の研修生の方、隣接する国立鈴鹿高専の卒業生、伊勢湾台風時にここに避難されてきた方などもみえ、当時を回顧して涙ぐむ姿もみられ、最後の格納庫の勇姿を時間がある限り目やカメラに焼き付けておられました。

なお、格納庫の解体工事はこの翌日の21日から始められ、移設保存を前提にした第4格納庫と部品保存を願った第3・第5格納庫の一部は丁寧に解体され、3月末をもってほぼ3棟の解体作業は終了しています。

以下、見学後、多数寄せられたおもな感想です。

広大な格納庫としっかりとした作りに改めて感心した。子どもの頃の兵隊さんを思い出しました。(鈴鹿市、70代、女性)

当時のそのままの姿を見ることができて貴重な体験でした。(愛知県岡崎市、30代女性)

生きた歴史にふれ、涙がでました・・本当にありがとう。貴重な財産が消えるのは本当にさみしい。大きな歴史の損失だ、行政のバカども!(鈴鹿市、60代男性)

これまでの活動の成果、調査され続けたことの成果の表れで、一棟だけでも保管されるとのこと、本当に喜びたいと思います。建物のことはよくわかりました。歩きながら何人かの体験者の方に話を伺うことができました。またいつかここで働いたり、訓練をうけたり、特攻として飛びだっていた方の話を聞きたいです。

(松阪市、50代女性)

有意義な会でした。戦争の悲劇を二度と起こさないように祈っています。(鈴鹿市、女性)

文化遺産であり、破壊は非常にもったいない。(鈴鹿市、50代男性)

ありがとうございました。日本人の強い精神力を75年の時代を超えて感じることができました。本当に戦時厳しさの中、飛行機で戦うため、大きな格納庫が建てられ、その中に足をつけられたことを、これから力強く生きていきたいと自分に思いました。(津市、50代女性)

以前、この地で仕事をしており大変なつかしく思いました。解体されることは大変残念であり、出来ることならジオラマとして残していただきたい。(鈴鹿市、60代男性)

見学させていただいて感激しています。今迄このままでもったいないと思います。(津市、70代女性)

よい機会を与えていただき深謝。(愛知県豊橋市、60代男性)

はじめて格納庫を見せて頂きました。敷地の中に多くの建物(体育館)もあり、解体ではなく再利用する方法もあるのではないかと感じました。当時を記憶されている方たちがまだみえる今、本心から惜しい!と思いました。(鈴鹿市、70代女性)

49年ぶりに懐かしく格納庫を見学することができました。感謝。(四日市市、60代男性)

格納庫の大きさが保存されるよう、どう工夫するかと思いました。建て替える土地は現場の再建できる広さで必ず確保したいものだと思いました。(鈴鹿市、70代男性)



第4格納庫前での説明

更に長く見学できればよかった。すばらしい見学会でありがとうございました。(伊勢市、40代男性)

いつも通りすがりに外観を見ているだけで、初めは格納庫であったとも知らない建物に入れてよかったです。色々説明もうかがえて大変勉強になりました。なくなってしまうのは残念です。何か有効利用できないかと思えます。(鈴鹿市、40代女性)

聞きしに勝る設備を目の前にしてかつての活躍のあとを感慨深くみせていただきました。戦争はもとより、戦後NTTの施設として個人的な思いもあり、本当に

なつかしかったです。(鈴鹿市、70代男性)

見れば見るほどこれらを破壊してしまうのが残念。とにかくここまでできたのはSTAFFの皆様のおかげです。(鈴鹿市、70代男性)

日中戦争の頃は偵察機パイロットの訓練をしていた事、鈴鹿海軍航空隊もあった、伊勢湾台風の頃は避難場所で、昭和天皇も来られたこと、防災センター、映画のロケでも使われたこと、沖縄戦でも活躍していたこと。沖縄出身の私は感謝の気持ちでいっぱいでした。(伊勢市、40代女性)

見学会できて楽しかったです。(津市、20代女性)

伊勢湾台風時に私たち木曾岬村の子ども・小中学生・お年寄りがお世話になった。思い出と感謝の念でいっぱいです。電通学園でしばらくお世話になり、その後、鈴峰荘(庄野橋近く?)で12月20日頃まで鈴鹿市の皆さんをはじめ実に多くの人々にお世話になりました。ありがとうございました。また一方、私の叔父が海軍のパイロットであり、当時、いくどとなく基地へ立ち寄ったとの事(戦死)を父や叔母から聞いており、合わせて往時を思い浮かべることができた。(木曾岬町、60代男性)

最初で最後の見学会に参加できとてもよかったです。旭が丘小から格納庫が見るので子どもの頃から気になっていました。戦跡として全て残してもらえるかと思っていましたが、取り壊しになるのはとても残念です。鈴鹿が軍都であった事は格納庫の件で初めて知りました。(鈴鹿市、30代女性)

今から約25年前にNTT研修生として来園し、夏祭り、文化祭等で利用した倉庫に再び訪れることになろうとは思いませんでした。戦争中に17~20歳までの若い兵士が集まった格納庫も戦後には北海道から沖縄まで研修生を集めて訓練という名の長年にも及ぶ研修を行い、同じような年代の若者が志は全く変わって比べものにならないでしょうが、集まった者があったのは奇遇であると感じました。(津市、40代男性)

こんな身近に歴史的な建物があるとは思わなかった。色々な説明も聞いてよかった。(鈴鹿市、30代男性)

49年ぶりに格納庫内に入りました(鈴鹿高専1期生)。来年50周年を迎えるにあたり、4月28日(開校日)格納庫に集合しようと話をしていたところでした。感謝します。(亀山市、60代男性)

戦争を風化させないためにもこういうものを残してほしい。残念です。格納庫の建築の作りの頑丈さに驚いた。(鈴鹿市、60代女性)

43年前までこの敷地内にあった電電公社の官舎に住んでおり、当時のなつかしい施設・建物等を見ることができてよかったです。(愛知県豊田市、60代男性)

第三格納庫は大きく、そして明るい内部だった。戦況がひどくなると飛行機は掩体壕に隠した話を聞き、ここは飛行機の学びの場であった。同じグループで思いかけず当時ここで演習された方の話を聞き、身の引き締まる思いがした。(鈴鹿市、50代女性)

貴重なものを見せて頂きました。地元(千葉県木更津市)に昔、ここで訓練を受けた知人がおり、かねてより写真を撮って送って欲しいと言われてきました。今回、それが叶い、存命中に送ることができたことは本当にうれしく思います。(鈴鹿市、40代男性)

66年ぶりに旧隊内の敷地内に入ることができて感無量です。役員の皆様の御努力に対しまして御礼申し上げます。今後も何かとお世話になる事と存じますがよろしく願いいたします。我が人生における一番の思い出の日となりました。(滋賀県甲賀市、80代男性)

武田友治少年(当時16歳)が久里浜通信学校からここに入隊し、その後、大村、舞鶴を経て夏、特攻へ行き、戦死しました。鈴鹿の半年のことがよくわからなかったのですが、少しイメージがわかりました。ありがとうございました。(富山県富山市、60代男性)

私は今の中学2年生のとき、上野市の飛行場で14歳の時、戦時特別滑空訓練を体験した人間として厳しい事は忘れ、格納庫を見て、今はなつかしく思いました。昭和20年6月でした。(鈴鹿市、70代男性)

航空隊の最後に立ち会えてよかった。(鈴鹿市、70代男性)

みてビックリ、改めて残すことへ考えて欲しい。あれは見なければわからない。(鈴鹿市、40代女性)・今後も遺跡の見学を企画して下さい。

(津市、20代男性)



第3格納庫内での説明

格納庫再建・管理基金」にご協力を！

「東日本大震災」被災地の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。私たちは、一日も早い復興を願っています。第4格納庫が再利用可能な形で解体され、解体部材が12月末日までNTT敷地内に保管されます。格納庫の3棟全面撤去方針から1棟だけでも再構築への夢が広がり、これからは格納庫の移設保存実現に向け協議体を設け、移転場所の選定、費用、活用などの検討に入ります。いま、「東日本大震災」の悲惨な社会情勢の中ではありますが、部材の保管期限が12月と限られています。「市民の会」として、再構築に向け「格納庫再建・管理基金」を募る活動の準備を始めたいと思います。

その第一歩として、3月22日、市民の会の世話人6人が「白亜の殿堂」と称された小学校の保存か建て替えかを巡って町を二分して対立、町長のリコールにまで発展した滋賀県豊郷町を視察してきました。この豊郷小学校旧校舎は町長交代後和解、保存と活用が実現し、条例をつくって「管理基金寄付金」を市民から募っています。それを学んできました。みなさまからも「基金・寄付金」についての情報、知恵、アドバイスなどがありましたらお寄せください。ご協力の程よろしくお願ひします。



滋賀県豊郷小学校旧校舎

各地の平和博物館

日本各地には戦争や平和博物館があります。鈴鹿の平和博物館を考えるために一度訪れてはいかがでしょうか。

	名 称	住 所	電話番号
1	ピースあいち	愛知県名古屋市名東区よもぎ台2-820	052-602-4222
2	立命館大学国際平和ミュージアム	京都府京都市北区等持院北町56-1	075-465-8151
3	大阪国際平和センター(ピースおおさか)	大阪府大阪市中央区大阪城2-1	06-6947-7208
4	東京大空襲戦災資料センター	東京都江東区北砂1-5-4	03-5857-5631
5	第五福竜丸展示館	東京都江東区夢の島3-2 夢の島公園内	03-3521-8494
6	広島平和記念資料館(原爆資料館)	広島県広島市中区中島町1-2 平和公園内	082-241-4004
7	長崎原爆資料館	長崎県長崎市平野町7-8	095-844-1231
8	知覧平和記念資料館	鹿児島県南九州市知覧町郡17881	0993-83-2525
9	川崎市平和館	神奈川県川崎市中原区木月住吉町33-1	044-433-0171
10	山梨平和ミュージアム(石橋湛山記念館)	山梨県甲府市朝気1-1-30	055-235-5659

戦争・平和資料館はこれ以外にも各地にはたくさんあります。おすすめは 1~3です。

第3回「鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会」総会のご案内

日 時 2011年5月14日(土) 13時30分より(受付; 13時) 16時頃終了予定
 場 所 鈴鹿市男女共同参画センター(ジェフリー鈴鹿)ホール
 鈴鹿市神戸二丁目15番18号(TEL 059-381-3113)
 内 容 経過報告
 格納庫活用実現の諸問題(協議体、資金、活用内容等)について(ディスカッション)、他

編集後記

市民の会にとってこの1~3月は激動の時期となった。多数の反対署名をうけてのシンポジウムの開催、ここでの保存に向けての提言も空しく、NTT西日本からの解体通告。市民の会では苦渋の選択として、第4格納庫の移設保存を前提とした解体に合意。そして見学会を経て解体撤去。今は見る姿もない。あと2~3年早く保存に向けて取り組んでいたら別の展開になっていたであろうと悔やんでならない。鈴鹿市には他にも残すべき戦争遺跡がたくさんある。決してこの失敗の二の舞にしてはならない。

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会

代 表 加藤二三子、竹内宏行

〒510-0254 鈴鹿市寺家1-2-47

電 話 059-388-6508

メー ル ta818hi@mecha.ne.jp

H P <http://www006.upp.so-net.ne.jp/asao/peacesuzuka.htm>